

第8次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	出納関係事務
-----	--------

会計区分	一般会計	実施主体	市
根拠法令等	鳥取市出納室設置規則、鳥取市会計規則等		
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	● 実施(補助)期間 自 継続 ～ 至

担当部	出納室	担当課	出納室
担当係	出納係	内線	2811 課 No. 75010
関係課	財政課(財務会計システム)		

総合計画			
基本計画	章名	第4章 効率的で質の高い市役所づくりと地域の特色を活かした計画的なまちづくり	
	節名	第1節 効率的で質の高い市役所づくり	
	細節名	第4 長期的に持続可能な財政基盤の構築	
	施策名	①歳出の効率化	該当ページ
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン			
事業区分	新規	継続	● 施策No. 41-04-01

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	平成19年度 事業内容	平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	備考	注意事項
<p>現行の財務会計システムの円滑な運用管理を行うとともに、リース期間満了(平成19年9月まで)後は機器の更新を図っていく。市税等公金の円滑な収納事務を行う。公共料金の口座振替を平成18年度から実施する。</p>	<p>・財務会計システム、収納処理システムの管理運用</p>		<p>・財務会計システム、収納処理システムの管理運用</p>	<p>・平成14年に導入した財務会計システム機器・システム及び平成16年度に導入した合併対応の機器・システムの更新・再構築を行う。(明許繰越費・情報政策課へ予算配当替え執行) ・財務会計システム、収納処理システムの管理運用</p>		<p>(注1) 事業内容は、①緊急性、②地域の実情、③効果、④熟度、⑤有利財源の確保の観点により、毎年ローリング(見直し)する中で変更していくことがあります。</p> <p>(注2) 事業費(財源内訳)は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。</p>
事業の概要	<p>・現行財務会計システム機器のリース期間は平成19年9月で満了となるが、現機能の維持を図りながら新地方公会計制度への対応を検討し、平成22年度に合併対応機器更新と併せて更新する。 ・納入済通知書のOCR読み取り処理を継続して行い、収納処理事務の効率化・迅速化・正確化を図っていく。 ・光熱水費、電話料金等公共料金の支払を口座振替によって行う。</p>					
事業の対象者(交付先)	すべての市民					
事業費(百万円)	H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	H19～H22合計	
※百万円未満の事業費は、百万円に切り上げています。	36	25	154	22	237	
財源内訳(インプット)	一般財源	33	23	22	19	97
	国庫支出金			110	1	111
	県支出金					
	起債()					
その他(負担金)	3	2	22	2	29	